

## 自由貿易システムとグローバル経済

令和5年12月7日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

複雑に相互依存する、世界経済は、資本を血液とし、製品を肉とするものである。これらは第一次産業から、第3次産業まで、自由貿易システムは相互依存における経済のグローバル化を与えるものである。

これらは経済と軍事の安全保障における欧米の政策は、低技術の低コストの製品群の必要性を欠如しているのである。これらはインダストリー4、0や、次世代技術基盤における飛躍を実現することは可能である。

これらは、貿易に依存する自己公の供給は、全ての産業群における自国の経済政策を求めることにおいて、先端技術やシステムはそれらへ新しい可能性を提案できるのである。

これらは、金融の流通という観点から、世界を観察するとき、資本が集中することは、未来の創造を行うことなのである。

これらは他方における生産と物流という現実とともに、正しい世界経済への理解を与えるものである。

新たな生産システムや技術は、経済における計り知れない新しい可能性であり、その変化は今日、ビジネスにおける高揚を与えるものである。

これらは自国における経済政策の新しい必要性を提案するものであり、既存経済基盤は、それにおいて飛躍を得ることは必ず可能なのである。

これらは新しい金融システムと経済システムの構築、デジタル通貨や、デジタルソサエティへの転換における産学官の連携など、未来という選択は存在するのである。

製品の生産において部品の欠如は、製造が成り立たないことを理解する時、経済における安全保障は、これら総括的な経済圏の構築を要求するものである。これら日本においては経済という基盤は、独自プレゼンスを世界に求めることができる切り札であり、日本が独自外交を模索する時、これらは現実を与えることができるのである。